

危機管理課 **日頃の訓練の成果を披露**
 広島県消防協会庄原支部小型ポンプ操法競技大会



団員のチームワークが重要

8月7日、「平成28年度広島県消防協会庄原支部小型ポンプ操法競技大会」が、東城小学校グラウンドで開催され、本市消防団員約450人が参加しました。

本大会は、消防団の日頃の訓練の成果を発表し、消防操法技術の向上と士気の高揚を図り、地域防災体制の強化に役立てることを目的に4年に1度開催され、合併前から数えると今回で13回目を迎える歴史ある大会です。

市消防団各方面隊から2チームずつ、計14チームが出場。選手は多くの団員や家族、来賓が見守る中、訓練の成果を発揮し、消防用



標的めがけ放水

機械器具の正確な取り扱いと機敏な操作を披露しました。

本大会上位の成績は、第1位が庄原方面隊（庄原分団）、第2位は比和方面隊（第1分団）、第3位は口和方面隊（第2分団）となっており、第1位の庄原方面隊（庄原分団）は平成29年に開催される県大会に本市代表として出場されます。

管財課 **建設会社と技術者の施工能力を評価**
 優良建設工事施工業者の認定、優良技術者の表彰



左から(株)加島建設 白根浩樹さん、同代表取締役 加島俊次さん、木山市長 榎大和建設取締役部長 藤原由雄さん、同森永清さん

7月27日、平成27年度に完成した工事127件のうち、優れた工事施工により認定基準を満たした施工業者2社を「優良建設工事施工業者」として認定し、工事を担当した技術者2人を「優良技術者」として表彰しました。

この制度は、建設会社の技術力向上を目的として、市が発注する500万円以上の建設工事について、品質や出来栄、安全対策などを総合的に評価する「工事成績評定点」が82点以上（100点満点）の成績を収めた工事の施工業者および技術者を認定・表彰するものです。

○優良認定業者および優良技術者（敬称略）

優良認定業者名	対象工事名	優良技術者名
(株)加島建設(高野町)	市道上里原後谷線道路改良工事	白根 浩樹
(株)大和建設(七塚町)	竹添下ため池災害復旧工事	森永 清

優良建設工事施工業者の(株)大和建設は、昨年に引き続きの認定となりました。

木山耕三市長は、認定書と表彰状を手渡し「今後も高い技術力を、市民の安心安全のために役立ててください」と述べました。

生涯学習課 **古里のために力を尽くす**
 庄原市成人式



決意表明する五反田悠哉さん

8月15日、庄原市民会館で「平成28年度庄原市成人式」を開催しました。本年は平成28年4月2日から平成29年4月1日までに生まれた人が対象で、市内在住者および出身者327人のうち227人が出席しました。

はじめに、木山耕三市長が「庄原で体験したことを原動力として発揮し、活躍してほしい」とあいさつをしました。

新成人を代表して、五反田悠哉さん（口和町）が「今まで支えられる側だったが、これからは支える側として、大好きな庄原市のために力を尽くしていきたい」と決意を述べました。

記念行事では、東城町出身の映画監督佐藤信介さんが「周囲に何を言われようと、自分を信じて行動すれば、夢はかなう」と新成人を激励しました。

成人式後に行われた実行委員会主催の祝賀パーティーでは、新成人がそれぞれの近況を話しながら、懐かしい友人との再会を楽しんでいました。



祝賀パーティーを楽しむ新成人



佐藤信介監督(右)と山田真紀アナウンサー(左)の対談



式には多くの新成人が出席

いちばんづくり課 **移住希望者へ庄原ならではのライフスタイルを発信**
 定住パンフレットを一新

市は、市外の方向けに発行している定住パンフレットをこのたび一新しました。

このパンフレットは主に、庄原市にU・イターンして暮らしている方にスポットを当て、暮らしの工夫やこだわりなど、それぞれのライフスタイルを写真付きで紹介。庄原暮らしを楽しんでいる人を「里山スタイリスト」として紹介することで、移住希望者に庄原市へ目を向けてもらうねらいがあります。

このたびのリニューアルでは白を基調にした紙面で統一し、里山スタイルをより前面に押し出し、庄原暮らしを楽しんでいる6家族を写真で切り取り紹介。このほか、庄原市へ移住するための手引きとして、移住者の声やQ&A方式で掲載するなど、移住希望者が知りたいと思える情報をコンパクトにまとめて紹介しています。

パンフレットはこれまで同様、移住相談や定住フェアなどで活用していきます。



フルカラーA4サイズ16頁のパンフレット

いちばんづくり課 地方創生の推進に向けて連携強化
 広島銀行と地方創生に係る包括連携協定を締結



協定書を取り交わし協働を約束

市と広島銀行は8月3日、地方創生に関するさまざまな分野で相互に協力し、その実現を図ることを目的として、「地方創生に係る包括連携協定」を締結しました。

この協定に基づき、今後、市への移住や定住の促進、空き家対策や起業支援などの取り組みを推進するため、両者で連携していきます。

締結式で広島銀行の野口悟常務執行役員は「庄原いちばんのまちづくりの推進に、共に汗を流したい」と話し、木山耕三市長は「地方創生の実現という目標に向け、お互いの想いを共有し、手を携えて取り組みを進めていきたい」と述べました。

なお、市が金融機関と連携協定を結ぶのは、昨年の広島みどり信用金庫との締結に続いて2件目となります。

いちばんづくり課 自分磨きで幸せを呼び込む
 縁結びイベント向けセミナー開催



好評だった庄原産野菜を使ったサラダ・キッシュ・スープ (女性セミナー)

広島市中区鞆町のフレンチレストラン「Tan soup」で7月24日、女性セミナー「里山スタイルで縁結び」を開催し、30〜40代の女性12人が参加しました。

このセミナーは、広島市内の女性に庄原市の男性像や結婚後の庄原暮らしに対する具体的なイメージをもってもらい、縁結びイベントへの参加を促すことを狙いとして開催しました。

最初の講義では、わくわく未来企画代表の宇佐うさこさんが「本当に豊かで幸せな結婚とは」と題し、都市部での実情と田舎暮らしのメリットなどを具体的に示しながら幸せをつかむヒントを伝授。参加者はうなずきながら真剣に耳を傾けていました。後半には、庄原産野菜を使った軽食を味わいながらの座談会や、庄原市の男性を紹介する映像の上映など、庄原の良さを印象付けました。



宇佐さんの講義の様子(女性セミナー)

セミナー後のアンケートでは、全員が「庄原に興味を持った」、7割が「庄原に住んでみたい」と回答。今後のイベント参加への期待が膨らむ結果となりました。

続いて、翌週の7月31日には男性向けスキルアップセミナーを「楽笑座」で開催し、20〜50代の男性24人が参加。宇佐さんと有会社社ふれぜんと代表の井上知彦さんを講師に、女性ファンをつくるためのコツを学びました。井上さんの講義はユーモアにあふれ、女性とのコミュニケーションの取り方やファッションに関するアドバイス、美容師の曾利武臣さんらによるヘアカット



井上さんの講義の様子(男性セミナー)



参加者をモデルにヘアカット(男性セミナー)

もあり、「面白くて大変参考になった」「新しいことに気付かされ勉強になった」と好評でした。

縁結びコーディネーターで庄原市総合サービス株式会社の枯木悦子さんは「セミナーに参加した人が自分を磨くことで、新たな出会いにつながるきっかけになれば」と話しています。

商工観光課 山遊びの魅力をPR
 庄原山フェス2016開催!



トレッキングツアー参加者約80人などで盛り上がる山フェス

本年から祝日となった8月11日「山の日」に、「庄原山フェス2016」をひろしま県民の森公園で開催しました。

地元ガイドなどによるトレッキングツアーや植物観察会のほか、親子で楽しめる木工クラフト体験や古事記伝説紙芝居、そしてアウトドアパーティ体験などのさまざまな催しが行われ、市内外から訪れた多くの家族連れや、登山愛好者たちで大盛況となりました。

広島市から参加した20代女性は、「神話に興味があり、比婆山御陵で話を聞けるのはうれしい」と楽しみにトレッキングをしていました。

社会福祉課 争いがなく笑顔であふれる未来のために
 庄原市戦没者追悼式・平和祈念式典



戦没者に哀悼の意を表し、恒久平和を祈念する「庄原市戦没者追悼式並びに平和祈念式典」を8月24日、庄原市民会館で行いました。遺族をはじめ、来賓、一般の方、児童生徒など約670人が参列し、本市出身の戦没者2923人の冥福と平和を祈りました。

式典の式辞で木山耕三市長は、「すべての子どもたちが笑顔で遊ぶことなく暮らし続けることのできる、平和な世界の実現に努力することが私たちの使命である」と恒久平和への思いを述べました。また、庄原小学校児童代表の伊藤なおみさんと足羽佑月さんが、「争いのない、笑顔であふれる未来をつくっていくため、庄原から平和のメッセージを発信し続けていきます」と、平和の誓いを述べました。続いて、参列者全員で黙祷・献花を行い、戦没者の冥福を祈りました。

追悼吟詩、永末小学校児童による合唱、口和本の会による朗読、東城中学校吹奏楽部による演奏も行われ、改めて平和の大切さを心に刻みました。



1 木山市長による式辞 2 東城中吹奏楽部の演奏 3 参列した児童による献花 4 庄原小児童代表の平和の誓い 5 永末小児童の合唱